

会 議 録

平成21年3月9日調製

審議会等名	平成20年度 第2回三条市文化財保護審議会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成21年3月2日(月) 午前10時00分～11時50分		
開催場所	三条市中央公民館 講義室	傍聴者	2人
出席者	審議会委員 荒木会長、渡辺副会長、岡村委員、金子委員、関委員、高橋委員、 長谷川委員、松井委員、六原委員、若槻委員 事務局 金子課長、近藤課長補佐、田村係長、勝山主任、高野主事		
欠席者	五十嵐委員		
議題	(1) 文化財調査報告について ① 文化財総合調査報告について ア 来迎寺観音堂建造物調査報告 イ 上野原遺跡主要出土品調査報告 ウ 経塚山遺跡出土鉄斧調査報告 ② 埋蔵文化財調査報告について ア 新堀遺跡確認調査報告 (2) 平成20年度芝地鶏(日本鶏)の保存について ① 平成20年度芝地鶏(日本鶏)等級審査 ② 芝地鶏等飼育鶏実態調査報告 (3) 『三条市文化遺産リスト』追加物件(案)について (4) 中心市街地歴史的建造物調査事業について (5) その他		
	1 荒木会長 開会のあいさつ		
	2 事務局 報告		
事務局	事務局より、三条神楽保存会が、地域文化功労文部科学大臣表彰を受けたことを、報告させていただく。		
	3 議題		
	(1) 文化財調査報告について ① 文化財総合調査報告について ア 来迎寺観音堂建造物調査報告		
事務局	(資料No. 1により説明)		
荒木会長	詳細な説明をいただいた。仏堂は本来土壁が通常であるが、地方ではこのように板張りとなっている例もある。屋根の平面形がT字形である点も珍しい。地方ではこのような建築もありうる。豪華な彫刻で飾られた手抜きがない建物である。 質問はあるか。関委員が文化遺産リストに推薦したが、報告に対して感想はあるか。		

関委員	実際に見て、報告を読ませていただくと三条では珍しい建造物と思う。今後どのように保護すべきか、所有者と市の考えは今の段階ではどうか。
事務局	<p>昭和60年に発行された『新潟県近世社寺建築緊急調査報告書』によると、宝永4年(1707年)の建築年代を示す棟札が確認されているが、今回の調査では確認できなかった。しかし、江戸時代後期文政年間を中心とした年代と考えられる建築様式である。この建造物は類例が少なく、同じような考え方の建物としては、新潟市指定文化財の善光寺如来堂があり、同じように三条市指定文化財に指定するにふさわしいと考えている。</p> <p>所有者に今後の保存について説明したが、指定の諾否は来迎寺御住職の一存では決められないため、お寺の檀家役員会に諮りたいとのことであった。事務局としては、所有者の許可が得られれば、市指定文化財に指定する方向で検討したいと考えている。</p>
荒木会長	高橋委員は行ったことあるか。
高橋委員	行ったことはない。
荒木会長	子育て観音とも言われる観音様で、民俗学的にも興味深いと思う。
荒木会長	若槻委員、何かあるか。
若槻委員	よく調査されていると感心した。文化財に指定したいとのことだが、歴史的な面など色々な成果が関係してくると思う。何もしないで放っておくと荒れてしまうので、なんとかしなければならぬという焦燥感はある。
荒木会長	古い建物なので傷みもあり、保存をどのようにしていくかという問題もある。
岡村委員	私も見学したが、すばらしい建物だった。板の間なので、意外と風通しがいい。しかし、耐震性はどうか。
事務局	この来迎寺に限らず、古建築すべてに言えることだが、耐震のために補強すると、外見を損なう可能性がある。その点について県の指導はないため、県指定文化財の本成寺三門や市指定文化財の本成寺千仏堂などもそのまま現状の状態で保存している。今回は年代的・構造的な調査に限らせていただいた。
荒木会長	長谷川委員と金子委員も見学に来られていたが、何か気がついたところはあるか。
長谷川委員	維持管理が大変だと感じた。
金子委員	特異な建物という印象を受けた。
荒木会長	他に質問、意見あるか。
	(質疑、意見なし)
	イ 上野原遺跡主要出土品調査報告
荒木会長	調査を担当された松井委員から報告いただきたい。
松井委員	(資料No. 2により説明)
関委員	上野原遺跡の現地は指定史跡になっているか。
松井委員	指定史跡にはなっていない。今回の出土品調査の対象以外で、土器は平箱で100箱程度あり、石器は100点以上ある。一括して文化財に指定することもできるが、

	今回は保存状態のよい143点だけを調査対象とした。指定に向けて順次に調査をしていきたい。
関委員	上野原遺跡の発掘調査は三条市内の発掘調査の嚆矢、初源となるものである。大事な遺跡だし、この報告の中に遺物の図版も掲載されている。すみやかに指定した方がよいのではないか。市指定文化財に指定するのは出土品一括ではないのか。
事務局	出土品一括指定もありうるが、管理、その他の面から典型的な完形土器、石器、呪術的な遺物に限らせていただいた。今回は資料 No. 2 にリスト化されたものを調査対象とした。土器や石器の破片については、指定から除外したい。
荒木会長	活用については、どのようなことが考えられるか。
事務局	資料館等で展示し市民の皆さんから見てもらっている。
荒木会長	小学校や社会教育でどのような活用の仕方があるか。
事務局	調査対象となった遺物は触らせたりすることは難しいが、土器の破片などは触ってもらったり、実測や拓本してもらったりすることもできる。
松井委員	上野原遺跡の出土品は、私達が18、19歳の時に発掘したものである。調査で久しぶりに土器を見たが、劣化しており、朱の色もあせていた。市の文化財に指定したら、管理や保存を考えてもらいたい。
渡辺副会長	現在はどのような保存状態なのか。
事務局	調査対象のものは主に歴史民俗産業資料館等で展示している。他に倉庫等で保管しているものもある。
	ウ 経塚山遺跡出土鉄斧調査報告
荒木会長	経塚山遺跡出土の鉄斧調査報告について、松井委員報告願いたい。
松井委員	(資料No. 3により説明)
松井委員	事務局は、鉄斧についてどのように考えるか。
事務局	2～3世紀の弥生時代の終わりごろは、日本は戦の時代で、中国の史書には「倭国大乱」と書かれている。三条の地にもその波が来たと思われる。東山丘陵の一部の如法寺の経塚山に高地性集落が築かれ、その遺跡から鉄斧が出土した。鉄は錆びるので残りにくく、鉄斧がそのままの形で出土したのは、県内ではこれが初めてである。 鉄斧は伐採などの工具と考えられるが、武器として使われたという考え方もある。この経塚山遺跡の鉄斧は完全な形の県内最古の鉄斧なので貴重であり、市指定文化財に指定されるべき出土品と考えられる。
荒木会長	何か質問、意見はあるか。
	(質疑、意見なし)
	② 埋蔵文化財調査報告について、 ア 新堀遺跡確認調査報告
事務局	資料No. 4により説明
関委員	県の文化財パトロール員をしていると、遺跡の有無が未確認な状態で建設を行い、後に遺構や遺物が出土して問題になることがある。周辺地域を含めて事前に十分な調査をしてほしい。

松井委員	<p>まったくその通りであり、私は昭和50年代にこの場所をほ場整備する際、調査している。今回の調査ではあまり土器とか遺物が出土していないが、この時代は須恵器の時代ではなく、木の椀などの塗り物の時代なので遺物の出土量は少ない。また散村的な景観であったので、分布の濃い部分と薄い部分があり、調査範囲は広がる。しかしムラとしての遺構が出てくる場所だと思うので、十分な調査をしないとけない。</p> <p>周辺の遺跡についても範囲が広がる可能性があるので、開発にあたっては事前に発掘調査が必要である。</p>
荒木会長	いつ頃の遺跡か。
事務局	室町時代の15世紀前半の遺跡である。
松井委員	自然堤防上の標高15m程度の遺跡で、今の集落と同じ場所にある。
荒木会長	他に何かあるか。
	(質疑、意見なし)
	(2) 三条市指定天然記念物芝地鶏(日本鶏)の保存について
	① 平成20年度芝地鶏(日本鶏)等級審査
	② 芝地鶏等飼育鶏実態調査報告
荒木会長	岡村委員より報告願いたい。
岡村委員	(資料No. 5・No. 6により説明)
荒木会長	平成20年度飼育鶏実態調査一覧表にある「枯芝」と「白」とは何か。
岡村委員	<p>体全体が枯れた芝のようなオレンジ色の羽色の鶏と、全身が白化した白い羽色の鶏のことである。色々な動物で全身が白色のものが出るが、芝地鶏でも出ることがある。</p> <p>現在、芝地鶏の飼育では、近親交配が進んでいることと飼育している者が少ない上、高齢化が進んでいるなどの問題がある。</p>
渡辺副会長	近親交配が進んでいるというが、DNAはどのくらいの個体のものがもっているか。
岡村委員	専門的に血液鑑定などはしていない。芝地鶏は上越市でも飼われている。体形、大きさが三条市内とその周辺のものとは異なっていて、DNAが異なることが、想定されている。交換などをして、近親交配でない強い芝地鶏を作りたい。DNA鑑定はどこでしているか。
渡辺副会長	ライチョウやトキのDNA鑑定は大学でしている。
岡村委員	蜀丸のDNA鑑定は名古屋大学に委託して調べてもらっている。
荒木会長	他に質問・意見あるか。
	(質疑、意見なし)
	(3) 『三条市文化遺産リスト』追加物件(案)について
荒木会長	『三条市文化遺産リスト』追加物件については、挙げた方から説明いただきたい。
事務局	(丸井今井邸について資料No. 7により説明)
長谷川委員	(升箕社奉納俳諧発句額、升箕社拝殿棟札について資料No. 7により説明)
金子委員	(聖観音立像[駒込]について資料No. 7により説明)

荒木会長	六原委員、何か意見あるか。
六原委員	来迎寺などを代表とする建造物は、これから残していかなければならない。新聞報道で塚野目の菅原神社は地震で全て造り替えたと思った。文化財的な価値があるものだけではなく、伝えられてきた色々なものの保存を考えていくべきではないか。栄地区では地震で壊れた10社以上の神社が建て替えを行っているが、現存するものも若い人の代になっていくと信仰の気持ちが薄らいでいくし、神社に価値を感じなくなってきている。大事に保存して欲しい。
荒木会長	升箕社の棟札に「御砂石場かち木遣り」と書かれているが、棟札に木遣りの人が書かれるのは珍しい。功績があったから書かれたのではないか。千仏堂（六角堂）も白根の庄瀬の歌うたいが一日中歌をうたっていたことが記録されていた。建築を行なう時は、こうした歌も大きな役割を果たしていたと考えられる。
高橋委員	木遣りを歌うのは木材を運んだりする時や石場鍛冶や土を踏み固めたり、建築現場で木遣りや伊勢音頭を歌うことが多いが、大工の棟梁がうまい。棟札に書かれているものがあることは知らなかったのが面白い。
荒木会長	説明のあった4件について文化遺産リストに載せてよろしいか。
	(異議なし)
荒木会長	追加物件として文化遺産リストに加えさせていただく。
	(4) 中心市街地歴史的建造物調査事業について
事務局	(資料 No. 8により説明)
荒木会長	意見、質問あるか。
関委員	歴史的建造物調査については、遅くなったようだが、是非行ってもらいたい。
荒木会長	調査計画図に瑞雲橋が入っているのは感慨深い。旧瑞雲橋の橋脚を抜いて資料館に展示した方がいいと資料館準備委員会で提案したことがあるが実現されなかった。あえなく反対にあい、あれから20年たってしまった。
	(5) その他
金子委員	新聞等で報道された大谷地紙ができたので、皆さんに一枚ずつ差し上げたい。会の発足がにわかで、原料が自生のものを使っており、質が悪く恐縮なのだが、実物を見ないと批評できないと思うので持参した。
荒木会長	原料は何か。
金子委員	コウゾである。
長谷川委員	一枚いくら位になるか。
金子委員	まだ決まっていない。
関委員	せっかく大谷地紙が再興されたので、こぞって協力しよう。
六原委員	表と裏はどちらか。
金子委員	乾かす時板についていた方がざらざらしているので、裏になる。
荒木会長	板の年輪がすじになっているのか。
長谷川委員	スゲタの痕だと思う。
金子委員	今回のものは、コウゾの繊維が堅い。

関委員	コウゾの木は複数年たったものは繊維が堅く、たたいても繊維がほぐれない。1年物を使うと作業しやすい。
金子委員	昔はこのような薄紙が障子になった。
六原委員	子供のころ、これに似た紙を「加茂紙」と言って売りにきたものだ。
荒木会長	金子委員から大谷地紙の貴重なお土産をいただいた。
岡村委員	栄地区の新堀遺跡の調査の話があったが、調査区が一番北の方に以前倉庫があり、その前に福田小学校の門柱が置いてあった。かなりいいもので、しかるべきところに移設してほしいと要望したが、今どうなっているかわからなくなっている。
六原委員	廃棄は簡単で、その時保存できるかできないかが重要である。今の若い人などは神社などが壊れたら、すべて壊して作るななどと言う人もいる。
荒木会長	破壊は一瞬である。 他に何かないか。なければ全議題を終了したい。
	(質疑、意見なし)

以上